

同じ趣味や興味を持つ人たちが情報交換などに利用している「コミュニティサイト」が、児童を対象とする犯罪の温床となっています。警察庁の平成24年上半年期の調査結果では、児童買春、

児童ポルノなどの被害に

遭った全国の児童は509人、被疑者は483人でした。犯行動機は性交を含む児童との接触目的が9割以上。また、4割以上が年齢、職業を詐称し、5割以上がサイト内のミ

サイトでの児童被害

ニメールを犯罪に利用していました。

被害児童は9割がスマートフォンを含む携帯電話を使っていて被害に遭っているほか、6割以上はサイト利用について保護者から注意を受け

ておらず、9割以上がフィルタリング未加入。

被害児童の苦しみは将来にわたって続きます。家庭で使う時のルールを作るなど、親がしっかり見守ることが大切です。

防犯一口メモ